

藤井医師 離町 いつも笑顔を ありがとう

3月31日付けで幾寅診療所藤井幹雄所長が退任されました。

藤井医師は平成14年6月より着任され、平成16年11月から所長となり7年10ヵ月にわたり、町の医療行政にご尽力をいただき、とりわけ地域医療の推進に貢献されました。

また、離町に際し、町まちづくり応援寄附金並びに町社会福祉協議会へそれぞれ100万円のご寄附をいただきました。



協働のまちづくり 推進塾から答申

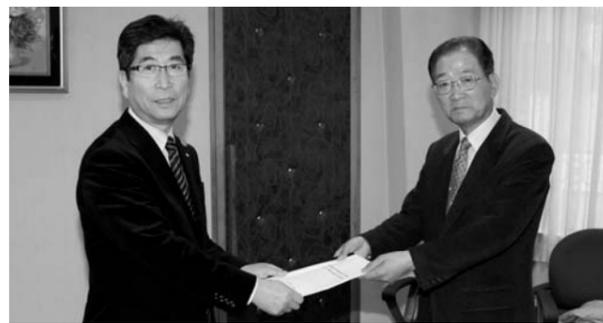
4月19日に協働のまちづくり推進塾（委員長菅原勝夫外7名）から「町内会活動と住民自治活動の融合を図り、協働のまちづくりへの基礎となる仕組み」に関する答申書が池部町長に手渡されました。

この答申書は、昨年7月16日に池部町長から同塾に対し、出張員制度見直しや町内会活動の進展に伴う住民自治活動の推進施策など、住民の参画協働を促す仕組みについての調査検討が諮問され、約10ヵ月間にわたる審議により、仮称『南富良野町自治会活動推進条例』の提案を柱とした具体的な推進施策が盛り込まれた内容になっています。

その理念は、「少子高齢化や過疎化の進行、地方分権の進展など社会的な背景や地域で抱える様々な課題に直面する今日、今後のまちづくりを進めていくため

には、住民の参画協働が必要であり、住民と行政のパートナーシップの醸成が不可欠とし、これらを具体的に推進する施策に取り組み中で、『協働のまちづくり』の形成をめざす」というものです。

今後、答申された内容をもとに、町民の皆さんや町内会などの各関係団体と十分な協議を行いながら、協働のまちづくりを推進していきます。



緑豊かな森林の火災防止にご協力を

4月7日、本町の貴重な森林資源を林野火災から守るため、予防体制の整備と予防思想の啓発を図り、林野火災の絶滅を期することを目的として、平成22年度林野火災予消防対策協議会が、みなくるにおいて開催されました。

町内外の関係者約60名が出席する中、はじめに平成21年中において林野火災皆無の実績を挙げた各地区森林愛護組合に感謝状が贈呈された後、予消防対策について審議が行われ、本年度は次の事項を重点として予消防の推進を図ることになりました。

林野火災が発生しやすい6月30日までの期間が林野火災危険期間に設定されていますので、町民の皆さんも林野火災の防止にご協力をお願いします。

①入林者に対する対策

・警報（通報）発令時や乾燥がはなはだしいときは、一般者の入林を禁止する。

②非常警戒対策

・湿度40%以下、風速7m以上、連続5日以上降雨のないときは、非常警戒として一般者の入林火入れなどを禁止し、巡視の強化を図る。

③火入れなどの対策

・共同火入れの指導。
・警報（通報）発令や気象状況急変の際は、一切の火入れなどを中止する。

④林内事業者対策

・林内事業者は、火気取扱責任者を定め、かつ事業区域内に巡視員を配置して警戒体制を図る。

⑤機械力導入に対する対策

・燃料又は引火性薬剤のある付近では、絶対に火気を使用しない。
・機械に燃料を補給するときは、必ずスイッチを切り安全な状態にして行うよう指導の徹底を図る。

新入学おめでとう！ 楽しい学校生活が スタート

4月6日、町内の小中学校において入学式が一斉に行われ、小学校4校に21名、中学校に24名の新入生が入学し、在校生や父母らが見守る中、新しい学校生活に心を躍らせていました。

また、4月8日には南富良野高校で入学式が行われ、11名の新入生が将来への夢と希望を胸に新たな学校生活が始まりました。



△落合小学校（5名入学）：笑顔がこぼれる初めての給食



△金山小学校（1名入学）：在校生にやさしく迎えらる1年生



△下金山小学校（1名入学）：緊張した入学式



△幾寅小学校（14名入学）：舞台上で名前を呼ばれ、元気に返事をする1年生



△南富良野高校（11名入学）：希望を胸に入学式



△南富良野中学校（24名入学）：在校生に迎えられた入学式